

国立大学法人 九州工業大学  
「超小型衛星技術に関する留学生受入事業」シンポジウム

会議名称：「超小型衛星技術に関する留学生受入事業」シンポジウム

会議名称：Symposium on Post-graduate study on Nano-Satellite Technologies

開催日時：2017年12月4日（月） 午後1時30分～午後5時30分

開催場所：九州工業大学 百周年中村記念館2階多目的ホール（北九州市戸畑区仙水町）

主催：国立大学法人九州工業大学

開催趣旨：

九州工業大学では、世界的に高まる超小型衛星を用いた衛星開発能力構築(Capacity Building)のための人材育成への需要に応えるために、2011年度に国連宇宙部(UNOOSA)と共同で非宇宙先進国からの留学生を博士後期課程学生として受け入れる事業を開始しました。同事業は Doctorate on Nanosatellite Technologies (DNST)として始まりましたが、2013年度からは文部科学省の国費留学生優先配置プログラムに採択され、Post-graduate study on Nanosatellite Technologies (PNST)に名称を変更しました。またそれに合わせて、九州工業大学に宇宙工学国際コース(Space Engineering International Course: SEIC)を設置しました。2013年度以来、PNSTは、5年間に396名が応募し、これまでに29名の留学生が入学しました。SEICには、26ヶ国71名(PNSTを含む)の留学生と45名の日本人学生が入学し、国内で稀にみる多様性のあるプログラムとなっています。

この度、2017年度入学分をもって国費留学生優先配置プログラムの1期目が終了するのに合わせて、これまでの活動を総括するシンポジウムを開催いたします。シンポジウムの目的は、以下の通りです。

1. PNST/DNSTの成果を振り返り、今後の方向性について考える
2. 新興国・途上国の人材育成と日本の関わり方について考える
3. 大学院教育の国際化について考える

宇宙工学教育、超小型衛星、Capacity Building、国際協力に興味をもつ全ての方々の参加を歓迎いたします。

#### プログラム

13:30	開会挨拶	尾家祐二（九州工業大学学長）
	来賓挨拶	松尾泰樹（文部科学省）
13:45	経過報告	趙孟佑（九州工業大学）
14:00	基調講演 1	Luc St-Pierre（国連宇宙部）
14:30	基調講演 2	行松泰弘（内閣府宇宙開発戦略推進事務局）
15:00	休憩&写真撮影	
15:20	基調講演 3	若田光一（宇宙航空研究開発機構）
15:50	修了生報告	Mohamed Yahia（エジプト宇宙機関）
16:05	パネルディスカッション	
	司会：趙孟佑	
	パネラー：Luc St-Pierre, 行松泰弘、若田光一、Erdenebaatar Dashdondog(モンゴル国立大学)、Mariela Rojas (コスタリカ大学)	
17:30	情報交換会	

問い合わせ連絡先：

九州工業大学総務課

広報企画係 電話 093-884-3007

九州工業大学宇宙環境技術ラボラトリー 河野誠司 電話 093-884-3292 kawano@ise.kyutech.ac.jp